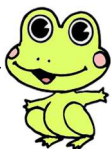


できることから
はじめよう！
環境にいいこと
ひとつずつ



城陽エコパートナー通信

Vol.80

発行日：令和6年(2024年)1月19日

編集・発行：城陽環境パートナーシップ会議

会員数：246人(令和5年12月31日現在)

(事務局) Tel(56)4061 Fax(66)6828

令和6年能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

被害を受けられた皆様の安全と一日も早い復興をお祈り申し上げます。

新年あけましておめでとうございます！

去年は夏から異常に暑い日が続き、秋を感じる間も無く年が終わりました。世界でも各地が異常気象に見舞われ干ばつ、熱波、台風、大雨、洪水などの被害があり、地球温暖化がもたらす気候変動を実感する一年となりました。他方、世界には未だに紛争が絶えず暴力が支配し、貧困に喘(あえ)ぐ国々や社会があります。国連は気候変動への取り組みも含め人類の持続可能な発展を目指して貧困の撲滅や紛争の解決、質の高い教育など17の目標(SDGs)を掲げ世界が共に取り組むことを宣言しました。いずれも一朝一夕に達成できる目標ではありません。目標の優先順位は国や地域の状況により異なりますが、大切なのは先ずは持続可能な社会、つまり人々の生業(なりわい)と営(いとな)みで持続する社会を築くことであります。

昨年11月に開催しました第22回城陽市環境フォーラムでは、ゼロカーボンシティを目指す過程の一步として気候変動が及ぼす生物多様性への影響に視点を当てました。活動報告や講演など各イベントには小学生から大学生、一般の市民の方々まで世代を超えて幅広く参加していただきました。多くの市民のみなさまに環境問題に関心を持っていただける機会となったのではないのでしょうか。

城陽環境パートナーシップ会議は一年を通して様々な活動を長年に渡り展開しております。一つ一つは地道な活動ではありますが、市民のみなさまをはじめ会員、運営委員、事務局のみなさまの絶え間ない参加により持続しております。

本年も引き続き多くの方のご参加とご支援をお願い申し上げますとともに、新年のご挨拶いたします。



会長 大野和宣



デイリーエコチョイスJOYO

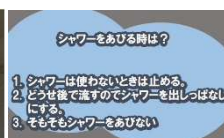
動画版を作製しました！ 文：浅田 和利 委員

大学生・城陽市・城陽環境パートナーシップ会議の協働事業として、デイリーエコチョイス JOYO 動画版を作製しました。今年度は、奈良教育大学ユネスコクラブ2回生及び4回生の学生たちが手を挙げてくれました。京都府出身の学生がいないという状況でしたが、まずは「城陽市を知ること！」から始め、城陽市の魅力を見つけながらどのような動画にするのか考えられていました。教育実習などもあり忙しい時期にもかかわらず、事務局や運営委員とのWEB会議や自前の衣装を利用した動画撮影に取り組みされました。会議では、小学生に分かりやすく伝える、取り組んでもらうにはどうすればいいのか、ということを中心に動画の作製内容を話し合い、大学生ならではのアイデアがたくさん出ていました。環境フォーラムの作製報告では、小学生向けの動画作製という作り手としての大変さや、作製を通じて自分の住む街の環境について

考えるきっかけになったことなどを率直に話されていきました。動画は今年のデイリーエコチョイスJOYOを土台として、ゲームとクイズの要素を混ぜたもので、こどもたちも楽しく学んでくれると思います。引き続き内容の一部を修正するとのことで、完成が待ち遠しいです。奈良教育大学生のみなさん、ありがとうございました。



▲動画作製に取り組んだ学生たち(左から木下さん、福原さん、田中さん、中島さん)



▲環境フォーラムにて発表した動画の一部



「第22回城陽市環境フォーラム」開催

文：中川 宗孝委員

11月25日、今年も城陽市と城陽環境パートナーシップ会議の共催による環境フォーラムが文化パーク城陽で開催されました。コロナ禍においても記念講演会のリモート開催で歴史ある環境イベントを中断することなく、今年度で22回目を迎えています。地球規模の自然破壊から身近な環境問題を考える機会ともなって、「環境先進都市・城陽市」の歩みを刻んできた今回の環境フォーラムでは、『気候変動と動植物の生態系への影響について～自然保護の現実と生物多様性の崩壊～』をメインテーマに、貴重な講演の他、環境団体の展示に児童や学生たちのステージ発表、カーボンニュートラル絵画展とグリーンカーテンフォトコンテストの表彰式など多彩な催しが行われ、約350名もの参加がありました。城陽環境パートナーシップ会議では、旬菜市や梅の郷事務局などの協力のもと、地元城陽の旬の野菜や加工品、お弁当の販売コーナーと喫茶コーナーを会場内に設けました。



▲城陽パートナーシップ会議 パネル展示の様子



▲バードカービング 作品展示の様子



▲正田 努氏による講演会 テーマ：爬虫類の分布と気候変動

また、今年度の活動報告のメインとなるパネル展示では、講演テーマに添った両生爬虫類の資料や書籍なども展示し、解説と共に生き物ガイドブック等の一般配布を行い、啓蒙活動の目的を果たしています。

今回、バードカービング作家の西村洋三さん・秋井信幸さんのお二人から作品提供を受け、愛鳥精神が宿る秀作の数々を展示し、大好評を博しました。

そして「爬虫類の分布と気候変動」を演題にご講演いただいたのは、日本爬虫両棲類学会前会長の正田努・京大名誉教授で、トカゲ研究の第一人者として知られています。

爬虫類の語源は地を「爬う（這う）虫」という意味であり、「虫」という字は本来、コブラを表す象形文字から成り立っている。よって爬虫類である「蛇」や「蛙」には「虫」の字がついているという興味深いお話に始まり、進化の過程や生息環境などの基礎知識、また、他の動物に比べて両生爬虫類は移動性が低く気候や環境の変化に

弱い反面、地球温暖化で気温が上昇することは生息地拡大に有利な面もあることなどが分かりました。

そして、最後に披露された激レアな標本の数々は特筆ものです。アシナシトカゲやトビトカゲなど、動物園や博物館でもまず見ることのできない貴重な標本に触れることができ、ハイテンションで記念撮影する参加者たちと、その一方で標本を目前にこわばる司会進行の米田亜由実アナウンサーの表情が印象的でした。とかく嫌われがちな爬虫類にも光を当て、環境問題との関わりを考える機会となったことは何よりでした。

城陽市が誇る環境イベントが次代に引き継がれ、ガイドブックを飾ったふるさとの生き物たちが消え去ることのないよう願うばかりです。



▲疋田 努氏による講演会の様子



▲爬虫類の標本と記念撮影をする関係者たち



どんぐりやまプロジェクト

文：木下 晴夫 委員



令和5年11月28日(火)午前9時過ぎ、寺田小学校2年生61名と先生3名を乗せたバス2台が、城陽五里五里の丘に到着しました。

森守クラブ6名と城陽パートナーシップ会議委員5名、市役所環境課職員3名が合流し、挨拶を交わしました。城陽五里五里の丘職員の二本柳氏より、砂になってしまった丘をもとの緑の森にすることや自然環境の大切さを説明して頂き、くぬぎの丘にて全員で楽しく大小のどんぐりを拾いました。



その後直径15センチ程のポットに枯れ葉と腐葉土を入れ、



先ほど拾った中から選りすぐりのどんぐりを2つ入れ、自分の名前を書いた札を挿しました。



持ち帰り、水やりをしながら観察していると、3割ほどの確立で芽を出し、1年である程度の大きさの苗に成長するそうです。

どんぐり植えの後は、城陽五里五里の丘事務局の主導でネイチャーゲームを実施しました。自然にまつわるクイズを解きながら丘のコースを回り、ゴールの展望台を目指します。最終問題の「文化パーク城陽はどこか」には、みごと全員が正解しました。すべての工程を終え、子どもたちに感想を聞くと「楽しかった」「面白かった」と答えてくれました。11時30分頃に城陽五里五里の丘をバスで出発し、城陽駅前に到着。城陽市環境課職員から「今回の苗をみんなで見守りながら大切に育ててください。」との挨拶の後、解散しました。



これからの自然環境を守り育てていく為の体験学習の一例を、子どもたちと共に楽しく実施できた事を嬉しく思います。

イベント INFORMATION

令和6年

1.27

土曜日

自然観察会を開催します！

参加費 無料

城陽市を流れる古川は、冬には多くの野鳥が観察できるフィールドです。冬の古川を散策しながら、多様な城陽冬鳥を観察に行きませんか。運が良ければ絶滅危惧種のチョウゲンボウが見られるかもしれません。ご参加お待ちしております！

日時 令和6年 1 月 27 日(土)9:00 集合 12:00 解散
集合場所 市民テニスコート(北部コミセン横)駐車場
※なるべく徒歩か自転車でお越しください
※雨天中止 判断しかねる時は、当日 8:30~8:45 に事務局へ問合せ
内容 古川流域での野鳥観察会と美化活動
対象 市内在住、在学、在勤の方(小学生以下は保護者同伴)
講師 竹野功璽氏、秋井信幸氏
持ち物 水筒、タオル、帽子



申し込み方法

窓口へお越しいただくか、お電話にて申し込みください。※令和6年1月16日(火)から受付開始
城陽環境パートナーシップ会議事務局(城陽市環境課) ☎0774-56-4061

本事業はエコ・アクション・ポイント対象事業です。イベント当日に提示される二次元バーコードを読み取るとポイントがもらえます！※市内在住の方限定。付与するポイントは上限があります。(1人1回)

エコ・アクション・ポイントとは？



環境省が推進する全国共通のポイントプログラムです。対象のエコアクション(環境にやさしい行動、サービスの利用等)を行うとアプリ上でポイントが付与され、貯めたポイントは各種ギフトカードや商品と交換することができます。城陽市では、令和5年8月からエコ・アクション・ポイント事業を開始しています。

まずは会員登録で
100ポイント獲得！



シロクマのマークのアプリです

エコ・アクション・ポイント



iOS
(iPhone 以降)



Android



アプリをお持ちでない場合、公式サイトからも会員登録ができます。

※アプリや登録方法に関するお問い合わせは、エコ・アクション・ポイント事務局まで ☎0120-889-614。

こんな行動でポイントがもらえます 城陽市民対象のエコアクション

2024年1月現在

・環境イベントへの参加・・・50ポイント

市や城陽環境パートナーシップ会議の開催する対象イベントに参加する
※対象イベント1回につきおひとり様1回まで

・広報紙の閲覧・・・10ポイント

偶数月15日の発行の広報じょうように掲載の環境課コラムを閲覧
※各号おひとり様1回まで

・「Joyo Eco Choice!」の取り組み・・・50ポイント

環境課窓口にて配布の「JOYO エコチョイス」に取り組む
※おひとり様1回まで

・LED照明器具への交換・・・100ポイント

LED照明器具または、LED電球を購入する
※購入製品1つにつき1回、おひとり様5回まで

・リサイクル回収・・・5ポイント

アル・プラザ城陽、ライフ寺田店、スーパー山田屋(富野荘本店・久津川店・青谷店)に設置のリサイクルボックスにて分別回収を行う
※おひとり様1日1回まで

・フードドライブへの協力・・・5ポイント

フードドライブの取り組みに協力する ※おひとり様1日1回まで

・地産地消の取り組み・・・5ポイント

JA 京都やましろ農産物直売所「五里五里市」及び「城陽旬菜市」で市内産の農作物を購入する
※1レシートにつき1回、おひとり様1日1回まで

詳しくは市ホームページ、または城陽市役所環境課までお気軽にお問い合わせください。(☎0776-56-4061)



市ホームページ

株式会社 城南工建

〒610-0113 京都府城陽市中芦原27番地の1
TEL 0774-53-3939 FAX 0774-55-1172

東城陽ゴルフ倶楽部

〒610-0121 京都府城陽市寺田奥山1-48
TEL 0774-52-1161

次の団体・個人から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

近畿砂利協同組合、京都城陽ロータリークラブ、サントリープロダクツ(株)宇治川工場、(株)城南工建、城陽市、城陽商工会議所、城陽金融会、星和電機(株)、(株)玉井開発、日本観光ゴルフ(株)城陽カントリー倶楽部、東城陽ゴルフ倶楽部、(株)平和堂アル・プラザ城陽、(株)ミズホ、森澤博光 ※令和5年9月末現在(五十音順・敬称略)